

令和5年度第3回3市ごみ減量推進市民会議次第

日 時 令和6年2月14日（水） 午前10時から

場 所 日野市クリーンセンター
プラスチック類資源化施設 2階 多目的室

次 第

1 小委員会からの最終報告

(1) 情報発信・環境学習グループ

(2) 減量グループ

2 最終報告の取り扱いについて

3 その他

4 閉会

小学生向け冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行について（報告）

3 市ごみ減量推進市民会議 情報発信・環境学習グループ

市民会議の要望により、小学生向け冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」が浅川清流環境組合より発行されましたので、作成経緯等について下記の通りご報告いたします。

記

1. 作成理由

- (1) 小学4年生は、総合的な学習として「ごみの処理と再利用」の授業を10数時間受けており、この授業の一環として、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設（以下「可燃ごみ処理施設という。」）を見学している。
- (2) 浅川清流環境組合作成の見学児童用の施設案内（A4版4ページ）は、可燃ごみの処理の説明が中心で、3市共同処理の目的、焼却後の灰の処理、発電の状況、公害対策等の幅広い説明がなく補助教材としては不十分と思われる。
- (3) 今後、見学児童数の増加も予想されるので、可燃ごみ処理施設の説明の他に3市の紹介と共同処理の目的、ごみ・資源物処理の流れ、3市共通のごみ問題（環境問題）等を織り込み、補助教材としても利用できる冊子を作成する。

2. 作成経緯

- (1) 市民会議より冊子の作成を要望
市民会議は、第1期と第2期の3市への要望書で、小学生向けの分かりやすい冊子（副読本）の作成を要望した。
- (2) 行政サイドより冊子作成方針の表明
令和4年7月、情報グループ会議で行政委員より、市民会議要望の冊子作成方針の表明があった。
- (3) 情報グループで内容検討
令和4年7月～12月、情報グループ会議を4回開催のうえ冊子の内容を検討し、令和5年2月の全体会議でページ割及び各ページの素案を報告した。
- (4) 印刷業者との契約
令和5年6月、浅川清流環境組合と（株）コモダ印刷で「見学者用冊子作成業務委託契約」を締結した。
- (5) 編集・校正作業

- ・7月～12月、事務局は業者と編集・校正作業を実施した。併行して、情報グループも初校～3校の校正作業を実施した。(4回)
- ・7月、11月の全体会議に進捗状況を報告し、委員の意見を聴取した。
- ・この間、事務局が本冊子について3市の教育委員会に意見を求めた。

(6) 印刷・納品

令和6年1月、(株) コモダ印刷が10,000部印刷のうえ、浅川清流環境組合に納品した。

3. 冊子のコンセプト

- (1) 冊子は、施設見学時の説明資料にするとともに、児童が持ち帰って補助教材としても利用できる内容にする。
- (2) 可燃ごみ処理施設の説明以外に、3市の紹介、共同処理の目的、ごみ・資源物処理の流れ等を記載し、児童が住所地以外の2市にも興味・親近感が沸くような内容にする。
- (3) ごみ処理が多数の人によって行われ、施設周辺の人たちの理解と協力で成り立っていることを理解し、児童が関係者への感謝と自分たちの責任を認識できるような内容にする。
- (4) 世界的な課題である「食品ロス問題」「プラスチックごみ問題」を採り上げ、自分たちに何ができるかを考える動機付けにする。この問題はSDGsにも密接に関係していることも説明する。

4. 冊子の概要

- ・名称 ～考えてみよう！ごみのこと環境のこと～
 私たちの可燃ごみ処理施設
- ・発行 浅川清流環境組合
- ・編集 3市ごみ減量推進市民会議
- ・サイズ A3(2つ折り)、中綴じ 12ページ フルカラー
- ・印刷部数 10,000部

5. 冊子の活用案

本冊子は、可燃ごみ処理施設見学時の施設説明の資料として利用する他、各小学校には、4年生の総合的な学習「ごみの処理と再利用」の補助教材として有効に活用することを期待したい。

配布基準は次の通りとし、配布開始は令和6年4月が良いと思われる。

- ① 3市の小学生の団体見学には全員に配布する。(引率の先生含む)
- ② 3市の見学校以外から補助教材として希望があった場合にも配布する。
- ③ 個人の見学者は、希望者に配布する。

以上

リサイクルで何に生まれ変わる?



みなさんが分別して出した資源物は、リサイクル工場で原料にもどされ、新しい製品に生まれ変わります。「分けければ資源、混ぜればごみ」です。限りある資源が再利用されるよう、しっかり分別するようにしましょう。

資源物	生まれ変わるもの(変身)
新聞紙	新聞紙、印刷用紙、コピー用紙、雑誌
ダンボール	タンボール、紙筒
本・雑誌・その他の紙	印刷用紙、絵本、紙箱
牛乳パック	トイレトーパーバー、ティッシュペーパー
衣類・布類	工場のぞうきん、フェルト(防音材、保温材)
びん	ガラスやびんの原料、住宅用断熱材、タイル、ガラス工芸品、舗装道路材
スチール缶	鉄製品(鉄骨、鉄筋、家電、自動車部品)
アルミ缶	アルミ製品(アルミ缶、自動車部品)
プラスチック・ペットボトル	文房具、日用品、舗装材、ボトル・ペットボトル、せんい製品(衣料品、フリース、作業衣)

[メモ]



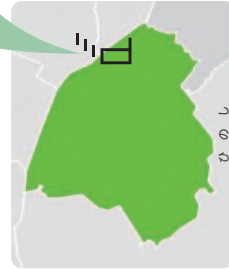
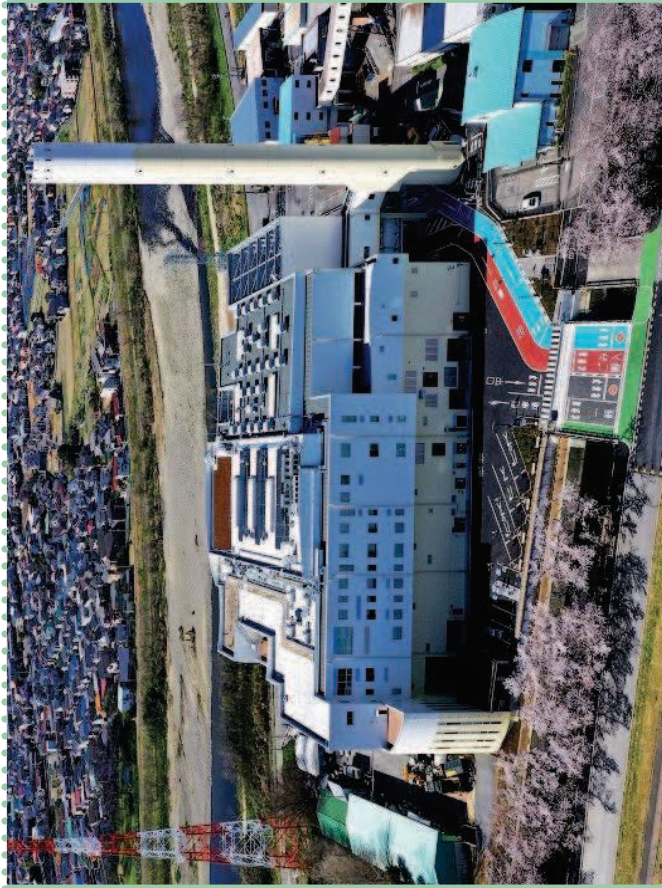
編集:3市ごみ減量推進市民会議 発行:浅川清流環境組合
〒191-0021 日野市石田1-210-2 電話:042-589-0555 FAX:042-589-0545
ホームページ: <https://cms.upcs.jp/asakawa/>



二次元コード

かんが かんきょうのここと かんが かんきょうのここと

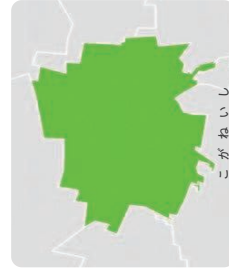
私たちの可燃ごみ処理施設



ひのし
日野市



こくぶんじし
国分寺市



こがねいしし
小金井市

あさかわせいりゅうかんきょうくみあい
浅川清流環境組合

かんきょうごみ処理施設はみなさんの住む3つの市が協力してつくりました。

小学校 年 組 名前

はじめに みなさんに期待すること

この冊子では、みなさんの家庭から出る可燃ごみを処理する「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設」と、この施設を共同で運営する日野市、国分寺市、小金井市の3市の紹介、ごみ処理の流れや環境問題などについて分かりやすく説明しています。

みなさんが住んでいるまちが、いつまでもきれいで環境にやさしいまちであるために、一人ひとりがごみのことや環境のことを身近なものとしてとらえ、友だちや家族と話し合って自分自身ができるかを考えたり、行動するきっかけになればうれしいです。

可燃ごみ処理施設周辺にお住まいの方をはじめとした日野市民のみならず、関係者のみなさんに感謝し、ご負担を少しでも減らすことができるよう、一層のごみの分別、資源化の徹底へのご協力をお願いいたします。

もくじ

- 1 共同処理の3市を知ろう
- 2 3市のごみの種類とゆえ
- 3 可燃ごみ処理施設を見学しよう
- 4 ごみの最終処分場を知ろう
- 5 食品ロスを減らそう ～SDGsを考えると～
- 6 プラスチックごみを減らそう ～SDGsを考えると～
- 7 リサイクルで何に生まれ変わる？

用語の統一について

可燃ごみ：市によって「もやせごみ」、「燃やすごみ」といった呼び方をしています。
不燃ごみ：市によって「もやせないごみ」、「燃やさないごみ」といった呼び方をしています。
資源物：びん、缶、ペットボトル、古紙、布などリユース、リサイクルできるものを資源物と呼んでいます。市によってはプラスチック類を資源物としています。

6

プラスチックごみを減らそう ～SDGsを考えると～

プラスチックごみは地球環境に大きな影響が

ポリ袋などで捨てられたプラスチックごみは、川から海に流れ出ます。この量は世界全体で年間800万トン(東京スカイツリー約222基分)にもなります。海に流れたプラスチックごみは、海岸に打ち上げられたり、海底に沈んだり、海を漂ったりします。このため、海の生き物に絡みついたり、生き物が誤って食べて死ぬなど、海の環境や生き物に大きな影響を与えています。

プラスチックは、燃やすと地球温暖化の原因となる二酸化炭素が多く発生します。また、今まで通り大量に使い続けると、原料となる石油が少なくなります。私たちが毎日の生活のなかでプラスチックごみを減らす努力が求められています。

プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル!



※ 出典元 消費者庁資料

私たちができていることを考えてみよう!

プラスチックごみを減らすために、私たちができていることをチェックしましょう。

- ☆みんなもやってみよう!
- エコバッグを持参し、レジ袋を断る。
- マイボトルを持参し、ペットボトルは利用しない。
- ごみのポイ捨てはしない。
- 学校や地域の清掃活動に参加する。
- ☆家族に聞いてみよう!
- シャンプーなどは詰替え商品を選ぶ。
- 使い捨てプラスチック製品は使わない。
- リサイクル製品をできるだけ使う。
- 外出先で出たごみはなるべく持ち帰る。



SDGsの目標の達成のためには、国や市などの取り組みとともに私たちの行動が大変重要です。

17の目標には、環境に貢献するものがたくさんあります。どんな項目があるか調べてみましょう。そして、私たちに何ができるかみんなで話し合ってみましょう。

食品ロスを減らそう ~SDGsを考える~

食品ロスとは？

「食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは、「もったいないだけでなく可燃ごみの量を増やします。また、ごみを燃やす時に出る二酸化炭素の増加にもつながり、環境にも悪い影響があります。食品ロスの約半分は家庭から出ている。みんなが食品ロスを減らしましょう！」

食品ロスの原因

家庭から出る食品ロス244万トン(令和3年度推計)の捨てる原因は、次の3つと考えられています。

①食べ残し 105万トン	②食べられる部分を袋計に切り捨てたもの 34万トン	③賞味期限や消費期限が切れて捨てたもの 105万トン
-----------------	------------------------------	-------------------------------



賞味期限、消費期限を正しく理解しよう！

「賞味期限」 おいしく食べられる期限

「消費期限」 安全に食べられる期限

賞味期限は切れてから食べても、すぐに安全性に問題があるわけではありません。

私たちができていることを考えてみよう！

食品ロスを減らすために、私たちができていることをチェックしましょう。

- ☆みんなもやってみよう！
 - 食べ物の好き嫌いをなくす。
 - 早く食べる物はお店の棚の手前から取る。
 - 食べる分だけを買う。
 - 食事は残さず食べる。
- ☆家族に聞いてみよう！
 - 買い物に行く前に冷蔵庫をチェックする。
 - 期限の近い食材から調理する。
 - 残った料理は別の料理にアレンジする。

SDGs (持続可能な開発目標) は世界共通の目標です

SDGsは「だれ一人取り残さない」の基本的な考えで、2030年までに「未来のために環境にやさしく、限りある資源を大切に、今の生活をより良いものにする」ために、世界中の国が達成すべき17の目標を掲げています。



共同処理の3市を知ろう

私たちの可燃ごみ処理施設は、日野市、国分寺市、小金井市の3市に住む約44万人の可燃ごみを処理しています。それぞれの市の人口や特徴を見て、自分の市と似ているところや違うところなどを深めてみましょう。



日野市 ~しあわせのタネを育てあう日野~

人口・世帯数 187,180人、92,822世帯 (令和5年4月1日現在)

市の歴史・名所 令和5年11月3日市制施行60周年 高幡不動尊、多摩動物公園など

市の特徴 水と緑が豊かになって、小・中学校の給食にも地元で作られた野菜が使われるほど農業が盛んです。また新選組のふるさとでもあり、全国から新選組のファンが集まります。

- 市の鳥・木・花 カフセミ、かし、菊
- イメージキャラクター エココム、エコアア、ごみゼロマン



国分寺市 ~魅力あふれひととがつながる文化都市国分寺~

人口・世帯数 128,691人、63,862世帯 (令和5年4月1日現在)

市の歴史・名所 令和6年11月3日市制施行60周年 武蔵国分寺跡(国指定史跡)、真姿の池湧水群(名水百選)など

市の特徴 東京都の中心、いわゆる東京の「へそ」に位置し、緑と水が豊かな自然に恵まれたまちです。また、日本初のヘンシルロケットの水圧発射実験や新幹線技術の開発が行われた地です。

- 市の鳥・木・花 カフセミ、けやき、さつき
- イメージキャラクター ぶんしほたるホッ子



小金井市 ~いかそやみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市~

人口・世帯数 124,713人、62,874世帯 (令和5年4月1日現在)

市の歴史・名所 令和5年10月1日市制施行65周年 滄浪公園、江戸東京たももの園など

市の特徴 東京都のほぼ中央に位置し、市内には大学、研究施設が設置され、住宅都市、文教都市としての性格が強いです。

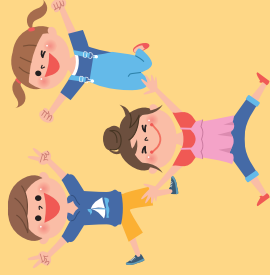
- 市の鳥・木・花 カフセミ、けやき、桜
- イメージキャラクター くるカメ、こつカメ、ムダガバヘッ(将軍など(ごみ減量キャラクター)



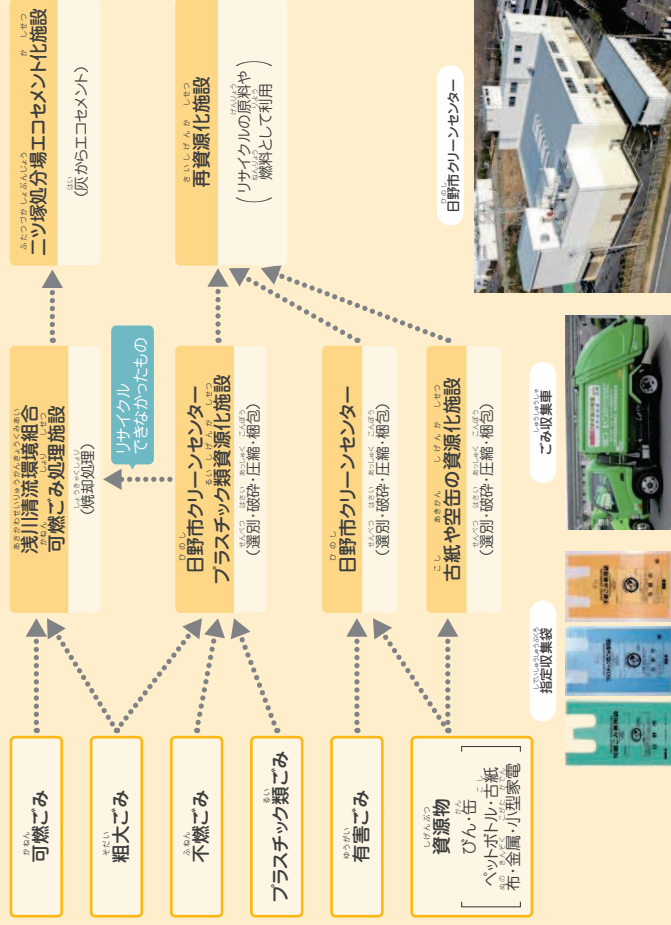
3市のごみの種類とゆくえ

みなさんの家から出たごみや資源物はどのように処理され、どこに行くのでしょうか。それぞれの市で少しずつ違う流れになっていて、色々な施設に運んでいるのがわかるかな。

資源物をリサイクルするためにはしっかり分別することが大切です。限りある資源を有効に再利用できるように、一人ひとりがルールを守ってきちんと分けて出すことがいつまでもきれいで、環境にやさしいまちにつながっていきます。



日野市 ~ごみゼロ社会をめざして~



破碎とは、粉々に砕くことを言います。
圧縮とは、物に力を加えて小さくすることを言います。
梱包とは、紙やビニールなどで包み、荷運することを言います。

ごみは 言葉の説明

ごみの最終処分場を知ろう

エコセメント事業のシンボルマーク
エコタワー

可燃ごみを燃やしてきた灰は、日の出町の二ツ塚処分場に運ばれます。ここは、三多摩25市1町約400万人の可燃ごみ焼却灰の最終処分場です。広さは約59ha(東京ドーム約13個分)もあり、焼却灰を主な原料としたエコセメントを製造しています。



エコセメント化施設

焼却灰は以前は埋立てていましたが、処分場を長く使うために、平成18年にエコセメント化施設ができました。そこでつくられるエコセメントは、私たちのまちの道路やベンチなどに広く使われています。



埋立地の状況(埋立てゼロへ)

ここでは、以前、細かくいただいた不燃ごみの埋立てを行っていましたが、各市、町がリサイクルを進め平成30年度から埋立てゼロが続いています。



二ツ塚処分場は、日の出町のみなさんのご理解とご協力により成り立っています。私たちは、日の出町に感謝し、一層のごみ減量に努力しましょう!

3Rはリデュースが一番大事です!!

- 3Rは、ごみを減らすためのキーワードですが、行動する順番があります。
- ①まず、ごみを出さないこと、ごみを減らすこと。(リデュース=Reduce)
- ②次に、まだ使える物は人にゆずったりして再利用すること。(リユース=Reuse)
- ③それでもごみになる場合、資源物は分別して出して再生利用すること。(リサイクル=Recycle)



可燃ごみ処理施設を見学しよう

この施設で行っていること

- ・ごみを850以上の高温で確実に燃やすこと。
- ・燃えて出るガスをきれいにし、煙突から排出すること。
- ・ごみのおいが外にもれないようにすること。
- ・発生した熱を利用して蒸気をつくり発電すること。

この施設のあらまし

運転開始年月日	令和2年4月1日
ごみ処理能力	228トン(1日あたり114トン×2炉)
炉形式	階段状に火格子を配置し、前後に動く方式(ストーカー方式)
蒸気タービン発電	5,190kW(一般家庭約15,000世帯分)
建物	地上6階、地下2階 建物高さ32.6m 煙突高さ85m
敷地面積	約1.1ha

可燃ごみ処理に関する質問と答え

Q1 なぜごみを燃やすのですか?
A ごみを燃やすことで量や重さを減らすことができます。また、においや害虫の発生を抑えることもできます。

Q2 1日に何台、ごみ収集車が来ますか?
A 1日平均、約200台です。

Q3 1日に約何トンのごみが運ばれてきますか?
A 1日平均、約200～250トン(40Lのごみ袋20,000～25,000袋分の量)です。

Q4 ごみクレーンがつかむ最大の重さは何トンですか?
A 5トン(だいたい小学4年生、160人分の重さ)です。

Q5 ごみを燃やすと、100トンくらいの重さのごみが何トンの灰になりますか?
A 約10トン(ごみの量のおよそ七1/10)になります。

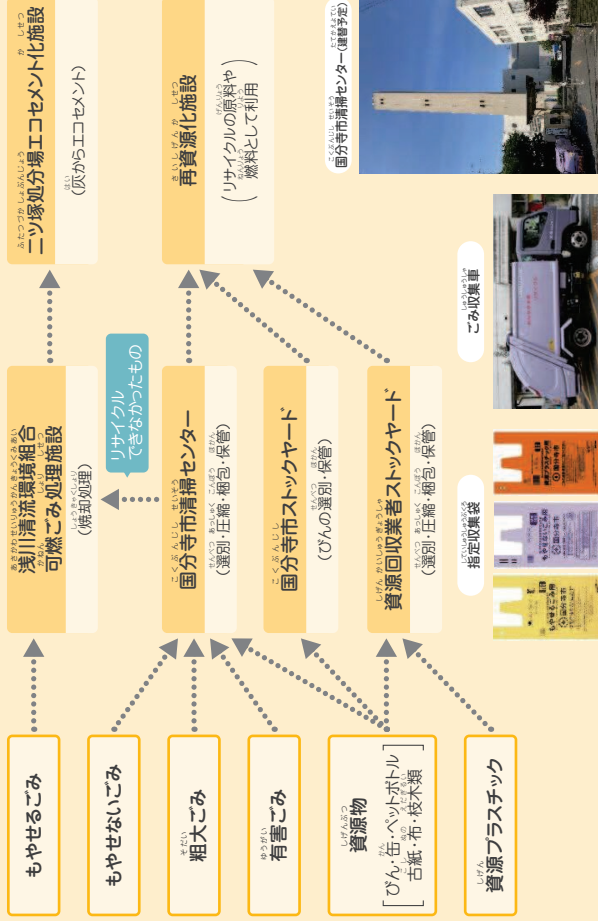
Q6 災害時の備えはありますか?
A 200人分の水や食料(1週間分)、毛布などを用意しています。

可燃ごみ処理施設からのお願い

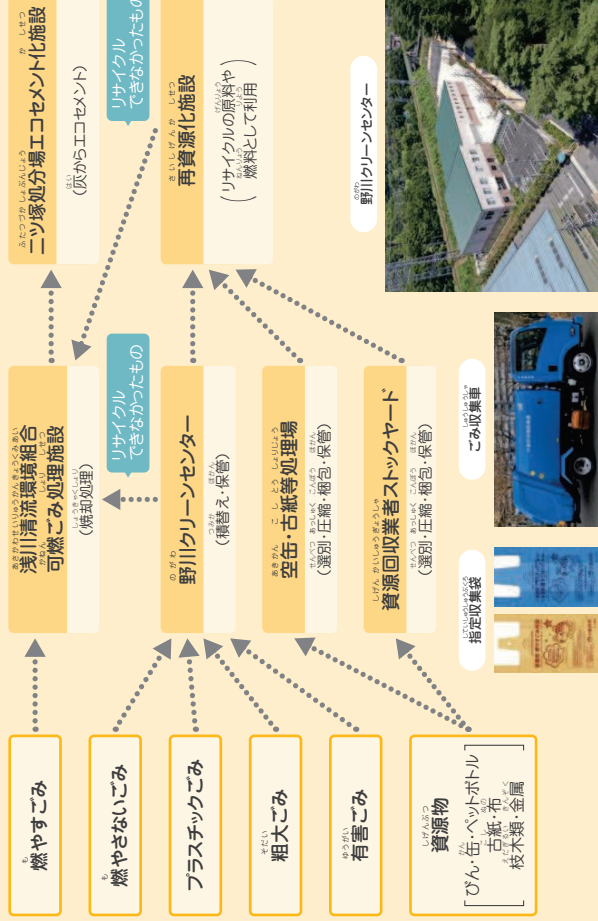
可燃ごみの中に不燃ごみや有害ごみ(リチウムイオン電池など)を入れないでください。火災、機械の故障につながる可能性があります。



国分寺市 ~清潔で環境に優しい循環型都市~



小金井市 ~循環型都市「ごみゼロタウン小金井」-ごみを出さないライフスタイルへ~



可燃ごみ処理施設を見学しよう 一可燃ごみ処理の流れ

1 中央制御室

ごみを燃やした時に出るけむりが
空気を汚さないように24時間チエツ
クしています。



2 ごみ計量機



ごみ収集車は、施設に入るときと
出るときにごみ計量機に載って車の
重さを量り、持ち込んだごみの量を計
算します。

3 プラットホーム



処理の流れ

ごみを燃やした時に出るけむりが
空気を汚さないように24時間チエツ
クしています。



2 ごみ計量機

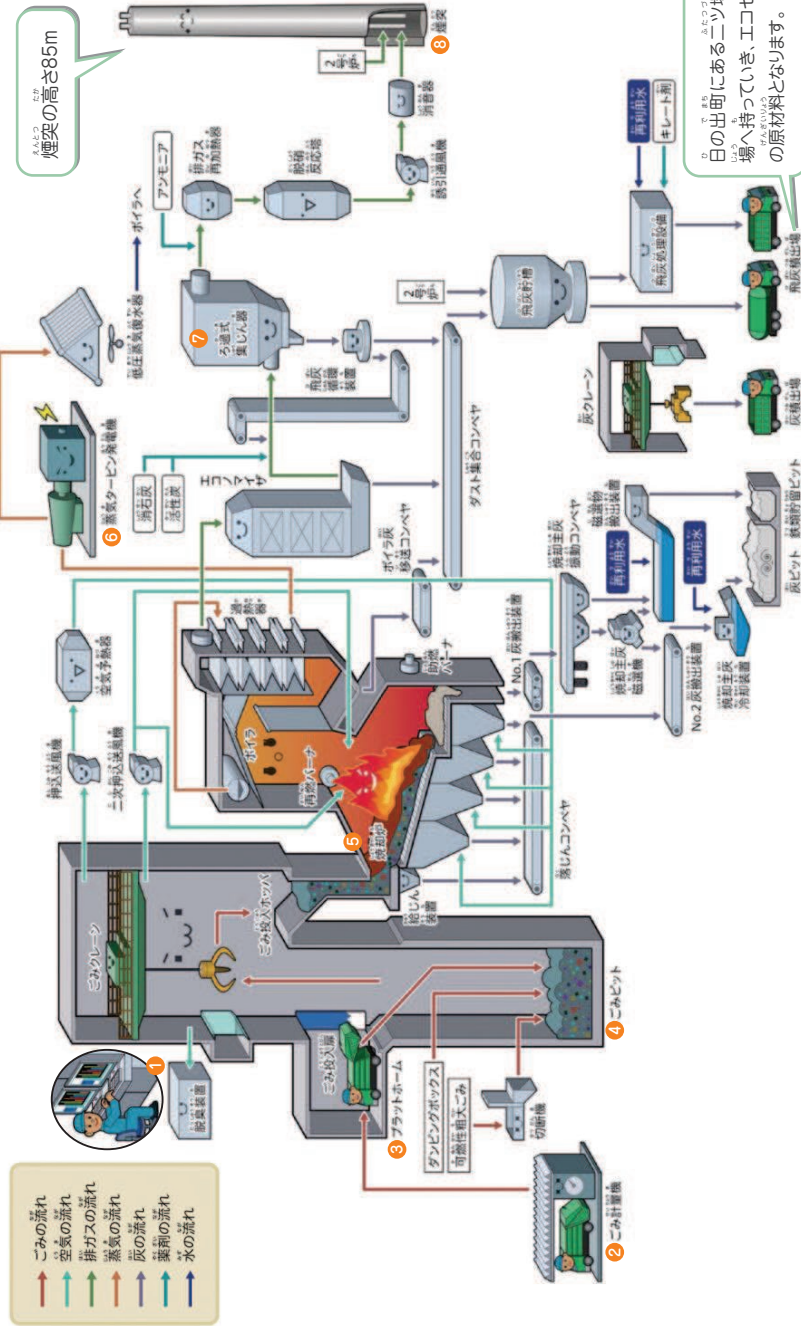


ごみ収集車は、施設に入るときと
出るときにごみ計量機に載って車の
重さを量り、持ち込んだごみの量を計
算します。

3 プラットホーム



集められたごみは、環境や健康に影響がないように燃やし、その熱で電気を作ります。



- ごみの流れ
- 空気の流れ
- 排ガスの流れ
- 蒸気の流れ
- 灰の流れ
- 薬剤の流れ
- 水の流れ

4 ごみピットごみクレーン



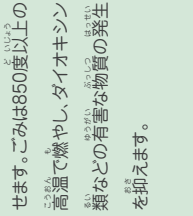
収集されたごみは、ここからごみピットへ投入されます。空気を外に出さないように、外から新鮮な空気を取り入れることで、中の臭いを出さないようになっています。

5 焼却炉



ごみピットは約1週間分のごみをためられます。ためられたごみは、クレーンで焼却炉(ごみ投入ホッパー)に投入されます。クレーンは1回に5トンつかむことができます。

6 蒸気タービン発電機、ボイラ



1日228トンのごみを燃やします。ごみは850度以上の高温で燃やし、ダイオキシン類などの有害な物質の発生を抑えます。

7 ろ過式集じん器



ガスの中に入っているダイオキシン類などの有害物質をフィルタに集めます。

8 煙突



高さ85mの煙突から、きれいにしたガスを出します。

6 蒸気タービン発電機、ボイラ



ごみを燃やしたときに出る蒸気はボイラで回収し、温められた水から蒸気を発生させます。その蒸気で発電機のタービンを動かして、発電します。



令和6年2月14日

3市連携の特集記事の掲載について（提案）

3市ごみ減量推進市民会議
情報発信・環境学習グループ

1. 提案理由

過去2回、市民会議の提案により3市が発行しているごみ情報紙（市報含む）に浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設関連の特集記事を掲載し、3市市民に情報を提供しています。

市民会議が可燃ごみ処理施設関連の情報を継続して発信し、3市市民の理解と協力を得ることが重要でありますので、令和6年3月発行の3市のごみ情報紙に3市連携の特集記事を掲載することを提案します。

（過去の掲載日：令和2年3月15日号、令和4年3月15日号）

2. 特集記事の内容（案）

(1) 可燃ごみ処理施設の状況

稼働状況、公害防止状況、今後の課題 等

(2) 3市の共同事業の紹介

水銀回収キャンペーン、コンタクトレンズ空ケース回収 等

(3) 市民会議の活動紹介

- ・「私たちの可燃ごみ処理施設」の発行

市民会議の要望により実現した小学生向け冊子「私たちの可燃ごみ処理施設」を写真入りで紹介する。

- ・食品ロスの市民アンケート結果

市民会議の提案で実現した3市民に対する「食品ロスアンケート」（10月実施）の結果を掲載する。

(4) 市長メッセージの掲載

3年間の総括と地元への感謝、市民への更なる分別の徹底と可燃ごみ減量を要請する市長メッセージを掲載する。

なお、過去2回掲載した「市民会議メッセージ」は、市民会議の活動状況を紹介するので、今回は掲載しない。

3. 発行時期

令和6年3月発行の3市ごみ情報紙（市報含む）に掲載する。

なお、発行日、記事のスペース等は各市の状況に応じて柔軟に対応する。

以上

ご家庭における食品ロス意識調査
WEB アンケート集計結果報告



令和6年2月

3市ごみ減量推進市民会議減量グループ

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は523万トン*。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量(2021年で年間約440万トン)の1.2倍に相当します。また、食品ロスを国民一人当たりで換算すると"お茶碗約1杯分(約114g)の食べもの"が毎日捨てられていることになるのです。「もったいない」と思いませんか？

このたび、浅川清流環境組合を構成する日野市・国分寺市・小金井市の3市が食品ロス削減に向けた効果的な取組みを検討するための基礎資料を得ることを目的として、ごみ減量推進市民会議減量グループ発案によるWEBアンケートを実施しましたので、その結果を報告します。

*農林水産省及び環境省 令和3年度推計

～3市ごみ減量推進市民会議について～

浅川清流環境組合の構成市である3市（日野市・国分寺市・小金井市）の市民等が参加して平成30年から活動しており、2050年までに3市の可燃ごみ焼却量をゼロに近づけることを目標に掲げて、ごみ減量施策や情報発信等についての検討や意見交換等を行っています。

【実施概要】

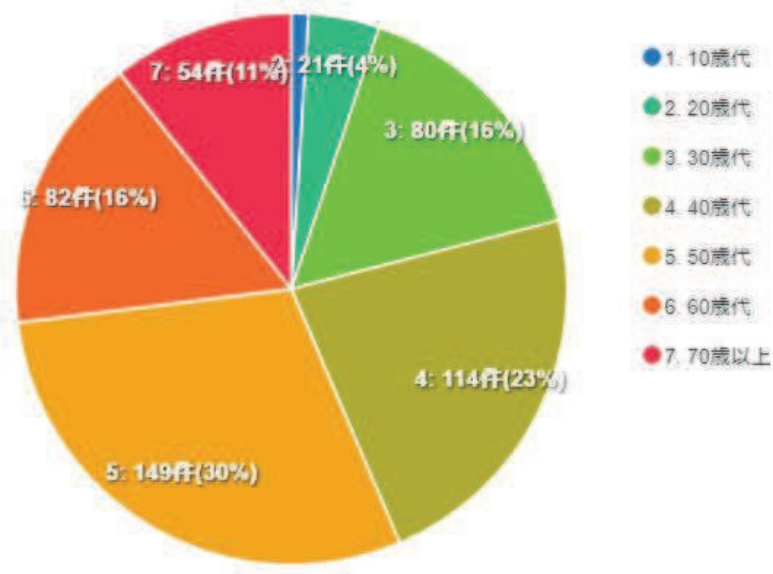
調査名 : ご家庭における食品ロス意識調査

調査時期 : 令和5年10月1日午前0時～令和5年10月31日午前0時

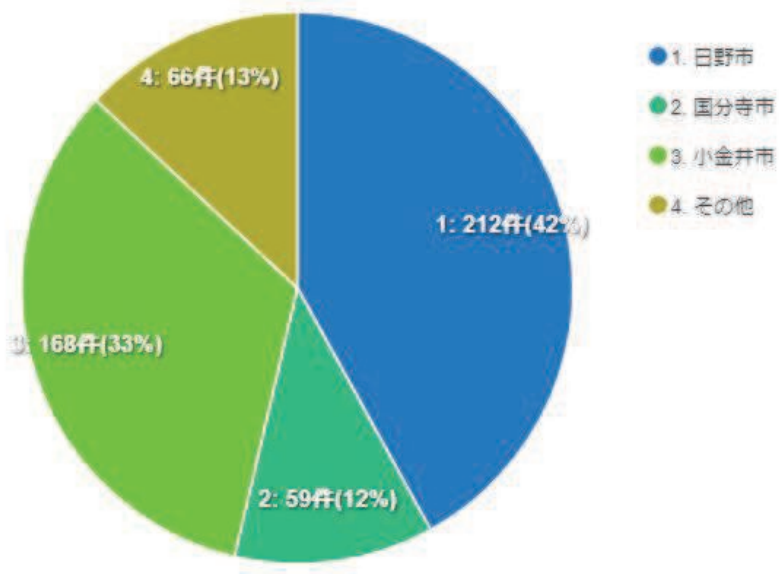
周知方法 : 3市（日野市・国分寺市・小金井市）の市報、ホームページ、各市イベント

会場内での呼び掛け

設問1 あなたの年代を教えてください。

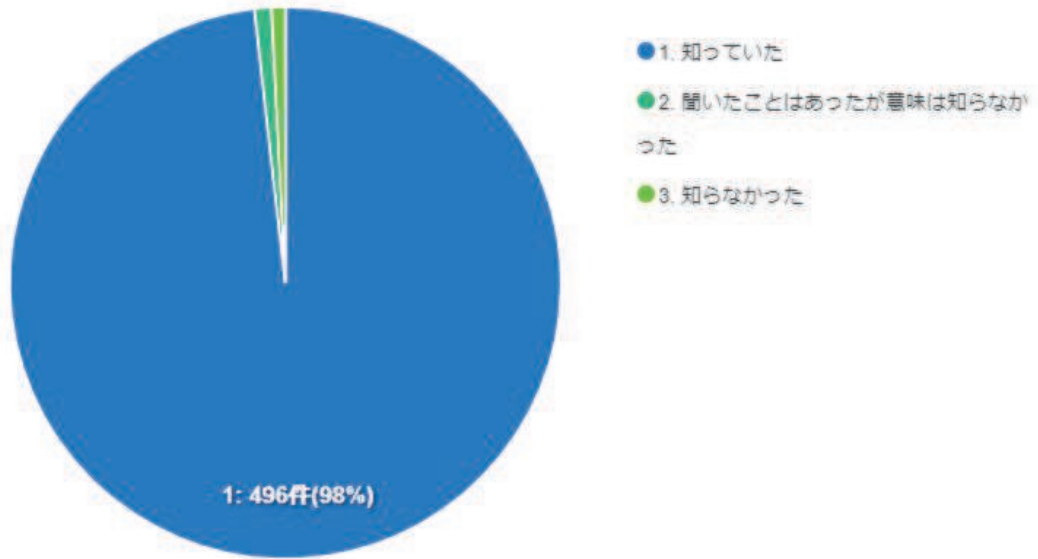


設問2 あなたがお住いの市を教えてください。

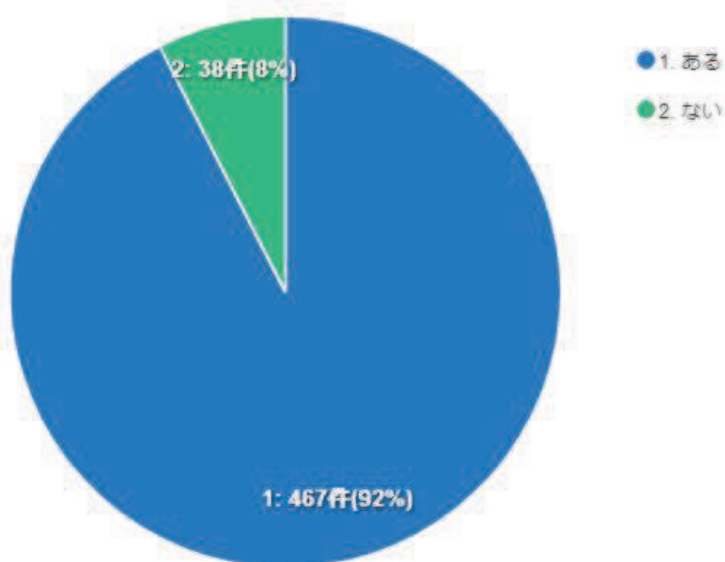


3市の市報、ホームページ、イベント会場で調査へのご協力を呼び掛けましたが、WEBアンケートの特性上、3市以外の方も回答する可能性があるため、「その他」を設定しました。

設問3 「食品ロス」という言葉を知っていましたか？



設問4 「食品ロス」を減らすために気を付けている・取り組んでいることはありますか？



設問4で「食品ロス」を減らすために気を付けている・取り組んでいることは「ある」

と答えた方の年代とその割合

年齢層	「ある」回答者数	構成比率	年齢層別 回答者数	同一年齢層 に占める割合
10 歳代	4 人	0.9%	5 人	80%
20 歳代	21 人	4.5%	21 人	100%
30 歳代	71 人	15.2%	80 人	88.8%
40 歳代	102 人	21.8%	114 人	89.5%
50 歳代	144 人	30.8%	149 人	96.6%
60 歳代	76 人	16.3%	82 人	92.7%
70 歳以上	49 人	10.5%	54 人	90.7%
合計	467 人	100.0%	505 人	92.5%

回答者の中で取り組んでいる人の割合が30～40歳代では90%未満となっている。

設問5-1 設問4で「ある」と答えた方に伺います。気を付けている・取り組んでいることについて、あてはまるものをすべて選択してください。(複数選択可能)

1. 買い物の前に家にある食材をチェックして必要なものだけ購入する	370 人
2. 家にある食材の賞味期限（消費期限）を定期的にチェックしている	302 人
3. 食材に合わせた方法で保存している	249 人
4. 家族の予定や健康状態等によって食卓にあげる量を調整している	175 人
5. 食べきれなかったものをリメイクするなど、食べ残しを減らす工夫をしている	283 人
6. フードバンク・フードドライブへ寄付している	42 人

7. その他	43人
8. 未回答	2人

「その他」における主な回答

【直接廃棄の削減（使い切り）】

- ・賞味期限が切れても、食べられるものは食べるようにしている 8件
- ・冷凍保存する 2件 ・バラ売り、量り売り、小分け商品を選ぶ 2件
- ・食材を使い切るようにしている 2件 ・おすそわけしている 2件
- ・子ども食堂へ寄付している 1件

【食べ残しの削減（食べ切り）】

- ・残さず食べる 9件 ・料理を作りすぎない 1件 ・余った料理をリメイクする 1件

【過剰除去の削減（エコクッキング）】

- ・野菜や果物の皮や葉、茎などもなるべく食べるようにしている 3件

【小売店の食品ロス（売れ残り）削減】

- ・期限間近な商品や期限間近な値引き商品をなるべく購入するようにしている 9件
- ・てまえどりをしている 4件 ・ネットで売れ残り商品を割引価格で購入している 3件

【飲食店の食品ロス（食べ残し）削減】

- ・外食時にはシェアして残さず食べる 1件

設問5-2 設問4で「食品ロス」を減らすために気を付けている・取り組んでいることは「ない」と答えた方に伺います。「食品ロス」を減らす方法のうち、取り組みそうなものをすべて選択してください。(複数選択可能)

1. 買い物の前に家にある食材をチェックして必要なものだけ購入する	22人
2. 家にある食材の賞味期限(消費期限)を定期的にチェックする	20人
3. 食材に合わせた方法で保存する	11人
4. 家族の予定や健康状態等によって食卓にあげる量を調整する	7人
5. 食べきれなかったものをリメイクするなど、食べ残しを減らす工夫をする	12人
6. フードバンク・フードドライブへ寄付する	6人
7. 未回答	3人

設問6 「食品ロス」を減らすことに取り組みにくい理由は何だと思えますか?

(複数選択可能)

1. 食品ロス削減の必要性がわからない	43人
2. 単身世帯なので調理する機会が少ない	47人
3. 経済面を優先し、「買いだめ」する傾向が強い	309人
4. 手間がかかりそう、面倒くさそう	144人
5. その他	85人

「その他」における主な回答

【家庭内の課題】

- ・食べ物を捨てるのはもったいないという意識が低い 9件
- ・賞味期限を気にしすぎる 7件
- ・買いだめすることがある 6件

- ・買いすぎてしまう 5件 ・急に食事が要らなくなることがある 5件
- ・食品ロスの削減を自分事として捉えていない 3件 ・子どもがご飯を残す 2件
- ・お土産やいただきものを、要らない食べ物でももらってしまう 2件
- ・食品ロスを出さないために気を付けなければならないことがわかっていない 1件
- ・買物前に冷蔵庫内の食材をチェックすることが習慣化されていない 1件
- ・野菜や果物はどの部分が食品ロスになるのかよくわからない 1件
- ・野菜の皮や外葉は農薬が気になる 1件

【事業者側の課題】

- ・小売店や飲食店などからも食品ロスが出ている 5件
- ・小売店は品切れを恐れ、在庫を抱えすぎている 2件
- ・バラ売りや小分け商品が少ない 2件 ・少量のメニューがある飲食店が少ない 2件
- ・消費を煽っている 1件 ・少量の食材は割高になっている 1件
- ・賞味期限が近い商品なのに値引きしていない 1件

【フードドライブの課題】

- ・フードドライブは平日しか受け付けていない 2件
- ・フードドライブへ寄付したいが、いつどこへ持って行けばいいのかわからない 1件

【その他】

- ・食品ロスはほとんど発生していない 10件
- ・既に取り組んでいる、取り組みにくいことはない 6件

設問7 「食品ロス」を減らす取組みを広めるために必要なことは何だと思えますか？

お考えがあればお聞かせください。(自由記述)

主な回答は以下のとおり。

【国への要望】

- ・国がテレビで食品ロス削減を呼びかけるのが効果的 5件
- ・賞味期限・消費期限の適正化 2件 ・賞味期限の表示を大きく見やすくする 1件

【行政による啓発】

- ・食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えて、食品ロス削減意識を高める 25件
- ・食品ロスを減らすことによる経済的メリット、または食品ロスによる経済的デメリットを周知する(商品代金、ごみ袋代、収集処理費用) 19件
- ・食品ロス削減方法を具体例をあげて周知する 9件 ・食品ロスの現状を周知する 6件
- ・消費期限と賞味期限の違いを理解してもらい、賞味期限が切れてもすぐに食べられなくなるわけではないことを周知する 4件
- ・生ごみを可燃ごみとは分けて収集し、食品ロスを見える化する 2件
- ・食品ロスをなくせば、ごみを減らせる 2件 ・TABETEを活用する 1件

【子どもへの教育】

- ・学校や家庭で、子どもの時から食べ物を捨てるのはもったいないという意識付けを行う 13件
- ・子どもに食べ物があることのありがたさを教える 2件
- ・子どもに好き嫌いなく食べることの重要性を教える 2件
- ・学校給食残渣を減らすため、学年に合った量の見直しや、味・献立の工夫をする 1件
- ・子どもに消費期限と賞味期限への理解を広める 1件

【家庭での取り組み】

- ・必要な物だけ買う 27件

- ・賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにする 10件
- ・冷蔵庫内の食材の在庫を常にチェックする 5件 ・適切に保存する 2件
- ・日持ちするものを買う 1件 ・食材を使い切るようにする 1件
- ・料理を作りすぎない 5件 ・残さず食べる 5件 ・余った料理をリメイクする 3件
- ・残った料理は保存して、後日必ず食べる 1件

【小売店での取り組み】

- ・少人数家族向けに、バラ・量り売り、小分け、少量パックを増やす（割高にしないで） 34件
- ・期限間近の商品は値引きして売れ残らないようにする 12件
- ・小売店は品切れを恐れず、廃棄が出るほど在庫を持たない 10件
- ・ポスターなどで食品ロス削減の具体例を紹介し、協力を呼びかける 5件
- ・消費者はてまえどりをする 2件
- ・恵方巻きやクリスマスなど売れ残りが出るようなイベントは控える 2件

【飲食店での取り組み】

- ・量を少なめに注文できるようにする 6件 ・食べ残した料理を持ち帰れるようにする 6件
- ・利用客に食べ残さないよう働きかける 3件 ・料理が余らないよう工夫する 2件

【フードドライブの活用】

- ・フードドライブが身近にあって利用しやすいようにする 9件
- ・スーパーなど身近な所に食品回収ボックスがあるとよい 5件
- ・フードドライブの設置場所や回収した食品の活用のされ方などを周知する 4件
- ・期限間近の食品も受け入れてほしい 3件
- ・余っている食品をフードドライブに寄付したい 2件

設問8 「食品ロス」について、あなたが知りたいことはありませんか？何かあればお聞かせください。（自由記述）

156人から記述回答があり、企業等の事業者から出る食品ロスの量と市民から出る量、賞味期限・消費期限の違い、先進的な取組みを知りたいという声が多く寄せられました。

～アンケート調査結果に基づく提案～

本調査結果をふまえ、食品ロス削減に向けて取り組むべき方向性は以下の5つの区分に適切に取り組む必要があることを提案します。

1.自治体による啓発

- ・食べ物を捨てるのはもったいないことを繰り返し訴えて、食品ロス削減意識を高める。
- ・食品ロス削減方法について具体例をあげて周知する。
- ・食品ロスを減らすことによる経済的メリットまたは食品ロスによる経済的デメリットを周知する。（商品代金、ごみ袋代、収集処理費用）。

2. 家庭での取り組み

【直接廃棄の削減（使い切り）】

- ・適切に保存する。
- ・日頃からまたは買物の前に冷蔵庫内の食材の在庫や賞味期限・消費期限をチェックする。
- ・賞味期限を過ぎてもすぐに捨てずに、食べられるものは食べるようにする。
- ・必要な物だけ買う。

【食べ残しの削減（食べ切り）】

- ・料理を作りすぎない。

- ・余った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）。

【過剰除去の削減（エコクッキング）】

- ・野菜や果物の皮や葉、茎などもなるべく食べるようにする。

【意識付け】

- ・子どもに好き嫌いなく食べることの重要性を教える。
- ・子どもの時から食べ物を捨てるのはもったいないという意識付けを行う。

3. 小売店での取り組み

- ・期限間近の商品は値引きして売れ残らないようにする。
- ・少人数家族向けに、（割高にならない範囲で）バラ・量り売り、小分け、少量パックといった選択肢を提供できるようにする。
- ・小売店は品切れを恐れず、廃棄が出るほど在庫を持たない。

4. 飲食店での取り組み

- ・量を少なめに注文できるようにする。
- ・食べ残した料理を持ち帰れるようにする。

5. フードドライブの活用促進

- ・フードドライブで回収した食品の活用のされ方などを周知する。
- ・フードドライブの設置場所や開催頻度の拡充を図る。